

# 令和3年 鳥取市教育委員会 2月定例会 会議録

1 日 時 令和3年2月26日(金) 9時30分 から

2 場 所 鳥取市役所本庁舎 6階 第4会議室

## 3 出席者

教育長 : 尾室 高志  
教育長職務代理者 : 藤井 喜臣  
委員 : 前田 哲雄  
委員 : 山脇 彰子  
委員 : 畑 千鶴乃

### [事務局]

副教育長 : 吉田 博幸 次長兼教育総務課長 : 中村 隆弘  
次長兼学校教育課長 : 岸本 吉弘  
生涯学習・スポーツ課長 : 中原 登  
文化財課長 : 佐々木 敏彦 学校保健給食課長 : 山根 ちはる  
中央図書館長 : 長本 次郎 教育センター所長 : 東田 重高  
さじアストロパーク所長 : 山西 正博  
学校教育課参事 : 須崎 ひとみ 教育総務課長補佐 : 入江 卓司  
[傍聴者] 2名

## 4 会議次第

○行事報告及び行事予定について [教育総務課]

### 【説明・協議事項】

- (1) 鳥取市教育委員会事務の自己点検・評価報告書について [教育総務課]  
(2) 鳥取市立学校適正規模・適正配置基本方針について [教育総務課]

### 【報告事項】

- (1) 鳥取市立小・中・義務教育学校における公費外会計定期検査の報告について [教育総務課]  
(2) 鳥取市学校給食センター整備計画検討委員会の経過報告について

- [学校保健給食課]
- (3) 第4次鳥取市子どもの読書活動推進計画について [生涯学習・スポーツ課]
- (4) 第2期鳥取市スポーツ振興計画(案)のパブリックコメントの実施について  
[生涯学習・スポーツ課]
- (5) 鳥取城跡中ノ御門表門(大手門)復元工事竣工式について [文化財課]
- (6) 用瀬図書館の移転作業等に伴う臨時休館及び会館記念式典について  
[中央図書館]

#### 【先回定例会の議事録】

#### 【その他】

- (1) 次期定例教育委員会の開催について
- [3月] 令和3年3月30日(火) 13:30～ 鳥取市役所本庁舎6階 第4会議室
- [4月] 令和3年4月30日(金) 13:30～ 鳥取市役所本庁舎6階 第4会議室

## 5 会議概要

9時30分 開会

尾室教育長 あいさつ

○行事報告及び行事予定について

教育総務課長 (資料に基づき説明する。)

#### 【説明・協議事項】

- (1) 鳥取市教育委員会事務の自己点検・評価報告書について  
教育総務課長 (資料に基づき説明する。)

#### 【質疑】

(前田委員)

今回のものは令和元年度のものですよね。令和2年度は、また指標が変わる可能性があるのでですか。

(教育総務課長)

いえ、令和2年度が5年目になりますので、令和2年度については基本的に元年度と同じ指標になります。

(2) 鳥取市立学校適正規模・適正配置基本方針について

校区審議室（資料に基づき説明する。）

【質疑】

(藤井委員)

気高地域のところに、「すみやかに協議を進めること」ということが書いてあるように、話がまとまったところから進めていくということで、一律ではないと思っておりますので、これから大変だとは思いますが、よろしくお願いします。

1点気になったのですが、13ページ(2)その他適正配置に関することの部分の文章を読むと、検討にあたっては特に次の点を考慮しますと書いてあり、校区と自治会・公民館の区域が整合すること、通学する学校より別の学校が近くにないことというように書かれていますが、きっと難しい面があると思います。この表現が言い切っているように感じられますが、気持ちとしては、できる限り考慮するという意味ですよ。

(校区審議室)

はい、そうです。

(藤井委員)

絶対にこの項目に当てはめるとするのは、少し難しいと思いますので、この辺りの表現をもう少し考えてもらえたらと思います。

あとは、いかに皆さんに理解していただけるかということですが、おそらく時間がかかるのではないかと思います。気高地域も、ずいぶん前から話をしているからここまで話が進んでいるのだと思いますので、もう少し身近に感じなければなかなか難しいと思います。

(校区審議室)

はい。このような方針が出ると、都会から移住してこられる方が減るのではないかとというようなご意見もありましたが、それにつきましては、やはり、学校がどうなるかということをお早めに検討しなければ、逆に移住を検討される方も困るのではないかとというような答え方をさせていただいております。

(藤井委員)

どこかの学校に統合するというのは難しいので、新しい学校をつくらないといけないのではないかとという声もあります。昔、湯梨浜町で小学校の統合があったときに、どちらかに統合したかったのですが、すごく反発があって、小学校2校の真ん中辺りに新しい学校をつくりました。やはりきれいな環境というのは喜ばれるので、そのくらい決断しなければ統合が難しい面もきっとあろうかと思えます。気高の小学校についても、どこにつくるかということが、これからきっと議論されるのではないかと思います。

(教育総務課長)

気高のことで言いますと、準備委員会が立ち上がることが決まりました。メンバーが決定いたしまして、3月5日に第1回目の話し合いを行います。例えば、江山学園の時のように、場所が決まっているパターンですと、学校の在り方についての議論からスタートしたのですが、今回は、まず1番重要なのが場所のことだろうということで、場所や、学校種を義務教育学校にするのか、小学校や中学校にするのかというところから検討したいと思っております。一応皆さまの方では小学校の4校統合でしたが、今回、校区審議会では、義務教育学校も併せて検討という話もいただいておりますので、その辺りを集中的に検討し、その後、学校の中身について検討していこうというように進めてきております。

(藤井委員)

今のところ、義務教育学校と聞くと良いイメージがあります。実際に中に入ったことはありませんが、小学校と中学校合わせて9年間で、世代を超えて一緒に過ごすというようなイメージがあります。

(教育総務課長)

気高の皆さんの場合は、鹿野学園で義務教育学校が見えており、その一方で、一小一中の青谷の方もございます。ですから、自分の地域の近くで、その両方を見ながら、委員の皆さまも様々なお気持ちがあるようです。できる限り皆さんの1番良い方法でというようなことで考えていきたいと思っております。

(前田委員)

7ページに小規模校の強みという項目ができて、こういったものが入ると、いろいろと考えてあるのだなと感じます。私も小規模校に勤めたことがありますが、1番の強みは、ここに書いてあることももちろんですが、例えば、小学校の12歳までの間、生活圈と学区がほとんど同じ場所で過ごしていると、私は個人的に不登校になりにくいのではないかと感じております。地域の人もよく知っているし、その水を飲み、その泥で遊んで12年間過ごした子どもが少し離れた中学校に行くという場合と、保育園のころからバスで通学し、自分の生まれた育ったところには寝に帰るだけという生活で12年間過ごした子どもとでは、メタ認知が働き出す頃になると、自分の根拠はどこなのかというところが変わってくると思います。また、不登校の子どもが地域の行事には参加するというような事例がありましたので、その辺りが小規模校の子どもたちの、目に見えない積み重ねの部分の中に強みとしてあるのではないかなと感じます。これはなかなか文章で表すのは難しいですが、そのようなことを感じました。

もう1点、先程の集団登校や天候のところも難しいなと思ったのですが、小規模校であってもなくても、こういった場合には子どもたちだけで登下校せず、必ず教員がつきますので、小規模校だから危ないというのが合うのか合わないのかという

気持ちがあります。小規模校であっても大規模校であっても非常災害の際には子どもだけで帰るとするのは考えにくいので、なかなかこの辺りも難しいところであると思います。

(校区審議室)

天候については、確かに小規模校であっても大規模校であっても同じですので、書き方を多少変更させていただきます。不審者につきましては、登校班がつかれない状態まで子どもが減るということを大変心配しているという意味で書かせていただいておりますので、少し書き方を修正させていただきます。

### 【報告事項】

- (1) 鳥取市立小・中・義務教育学校における公費外会計定期検査の報告について  
教育総務課長（資料に基づき説明する。）

### 【質疑】

(藤井委員)

学校の支払いは、実際は業者に取りに来てもらうことになるのですよね。今は同じ銀行間の振込でも手数料をとるようになってきている銀行もあるようです。手数料が別でかかると振り込めません。公費外ですから、実際のお金だけ使ってそれを業者に渡すので、業者に取りに来てもらうか、持って行って払うかになりますよね。その辺りが、これから工夫しないと大変なのかなと思います。学校の場合は人数が多いので難しいのですが、私たちの一般的な感覚では、買ったときにお金を支払いますよね。そのようなことがスムーズにいくようになればよいと思います。納品と支払日が異なると相手も二度手間になりますので、納品の時にはお金が集まっていて、納品してもらってお金を渡すということができればと思います。

(学校保健給食課長)

学校関係の諸費を公会計として扱っているというところでお話しさせていただきますと、私会計の中で、今この公費外会計の監査にすべて入れているわけではございませんが、公費外会計として扱っているものであれば、学校の口座に振り込み、それ以外のところは業者が集金に来られたりするという状況です。それ以外でない部分の多くは、鳥取ですから出入り業者が小さいところでほとんど決まっているということで、手集金と言いますか、例えば小学校でいいますと、必ず皆さんが買うものではない裁縫セットのパーツを申込みというようなことであると、家庭から持ち寄った集金の中で業者に払っていくというような作業はまだ続いている状況かと思われま。いずれにしても、学校でなるべく現金を少なくしようということで私どもも動いておりますので、その辺りも私どもの公費外として扱っている部分で、また話をさせていただきたいと思っております。

(藤井委員)

公費の中で出てくるのは、小中学校は関係ありませんが、高校ですと、例えば授業料などを振り込んでもらうのですよね。その際に当然手数料がかかりますが、それは減ってしまうのですよね。例えば、5千円授業料を振り込まれたときに、手数料をとられると4千9百何円に減ってしまうのですよね。それは公費なのでできるかもしれませんが、公費外になるとややこしいなと思いました。ですが、今、学校保健給食課長が言われたように、決まった業者であれば何度も出入りしますので、私が今言ったような手数料のことは考えなくても良いのかもしれないね。

(学校保健給食課長)

そうですね。多い時ですと、1日に3～4回出入りするという事も聞いております。

(藤井委員)

そうですね。例えばドリルの本の定価が、この店で買ったら安いというようなことはないように思いますし、あまり気にしなくても良いのかもしれない。なるべくお金を扱わないように速やかに払えるようにするという事ですね。

(学校保健給食課長)

はい、なるべくそこを目指して、話を深めていきたいと思います。

## (2) 鳥取市学校給食センター整備計画検討委員会の経過報告について

学校保健給食課長（資料に基づき説明する。）

### 【質疑】

(藤井委員)

候補地の抽出が3月にありますが、これは具体的な候補地が出てくるのですか、それともおおよそこの辺りというようなものが出てくるのでしょうか。あまり人の土地にここだと決められないと思うのですがどうでしょうか。

(学校保健給食課長)

基本的には公共の用地、いわゆる市の有する市有地の優先度が高くなると思います。どうしても用地買収をしてまでというものではなく、望ましいエリアの中で、公共用地がここに何㎡あって、ここであれば何食くらいが可能か、先程の配送の関係もクリアするかというようなポイントを見ながら、先程申し上げました5項目を掛け合わせた候補ということになると思います。

(藤井委員)

これはどうしようもないことですが、学校の統廃合が先にできていたら、たくさん候補があったのかもしれないね。いい土地が見つかったらよいなと思います。

(学校保健給食課長)

はい、その辺りも今後あわせて睨みながら協議を進めていく必要があるかなというところで、まずは計画でございます。

(尾室教育長)

市有地に限定すると、例えば公園やスポーツ広場などもあって、そういったものを潰してまでやるのかどうかという議論もあります。教育委員会内の施設ですと多少融通が利くのですが、他部署が使っている公共用地、また、予定があるようなところはなかなか難しい部分があります。また具体的には3月以降にお話しさせていただきたいと思います。

(3) 第4次鳥取市子どもの読書活動推進計画について

生涯学習・スポーツ課長（資料に基づき説明する。）

【質疑】

(畑委員)

おすすめの絵本リストですが、これはもう確定でしょうか。0歳児、1歳児、2歳児の絵本リスト用がありません。ここが絵本のスタートと言いますか、読書、本のスタート、本を楽しむ人生のスタートなのですが、それが無いというのがあまりにも残念です。親子で楽しむ絵本ですとか、わらべ歌で展開していく絵本などあって、親と子のコミュニケーションにとっても大切なものです。このリストの中に入れていただくと、0～2歳児にどのような絵本を読んであげたらよいかわからないという方やおすすめの絵本を探している方、乳幼児の子育て家庭の絵本のスタートが良いスタートになると思うのですが、入らないのでしょうか。

(生涯学習・スポーツ課長)

ありがとうございます。入れられるように検討させていただきたいと思います。

(畑委員)

ぜひお願いします。絵本をどなたが選んでくださったのかなと思って34ページを見ましたら、保育園の先生も入ってくださっていますし、0～2歳の家庭保護の先生も入っておられます。0～2歳の絵本を熟知しているエキスパートがきつとおそろいでいらっしゃると思いますので、ぜひ鳥取市の赤ちゃんを育てる家庭に向けて、この計画を通して、絵本の魅力を伝えていただきたいです。

(尾室教育長)

ありがとうございます。ぜひそれは前向きに検討したいと思います。

(4) 第2期鳥取市スポーツ振興計画（案）のパブリックコメントの実施について

生涯学習・スポーツ課長（資料に基づき説明する。）

【質疑】

(藤井委員)

18、19ページのところで1つお伺いします。今回「スポーツを通じた共生社会の実現」ということで、新しくつくられたところで、障がいの有無に関わらない

スポーツ環境の醸成というのはとてもよいことだと思います。今、私が障がいのある方たちのスポーツ団体と少しかかわりがあり、障がいのある人とない人とが一緒になって1つのチームをつくってやるようなスポーツとか、様々な格好のスポーツが出てきています。ですので、これが新しく入ったことはよいことだと思って読んでいたのですが、少し気になったのが、女性のスポーツ活動推進の中の「女性は特に、子育ての多忙感やスポーツの苦手意識が高い傾向にある」というところです。これはおそらく、次の20ページの表に「子供に手がかかるから」「運動・スポーツが嫌いだから」というのがあって、そこから引用しておられると思うのですが、子育ての多忙感というのは、正直父親より母親の方に子どもが寄っていくので、なかなか子どもと一緒にいるとスポーツをするというのが難しいのかなと思いますが、スポーツの苦手意識が女性が高いというのは、少し違うのではないかと思います。昔は男性しかやっていないスポーツが多くありましたが、今はサッカーも女子サッカーが出てきたり、アメリカでは女子のアメリカンフットボールなども出てきたりしています。また、何となく今は現場別れしているのでよくわからないのですが、子どもの頃の遊びを思い出すと、私たちの年代は外で男の子が結構たくさん遊んでいて、女の子もキャッチボールをして遊んだりというイメージがあるのですよね。それで、本当に女性はスポーツの苦手意識が高いのかなという疑問があります。今はスポーツジムでも女性が非常に多いですし、苦手意識ではないように感じます。表現が少し現実立っていないような気がしています。

(生涯学習・スポーツ課長)

はい。多忙感、苦手意識が高いというのは20ページのグラフから読み取ったものですが、おっしゃるように運動が得意な方もいらっしゃいますし、表現が少し偏っているかもしれません。

(尾室教育長)

それではその部分の見直しをよろしくお願いします。

(生涯学習・スポーツ課長)

はい。

#### (5) 鳥取城跡中ノ御門表門（大手門）復元工事竣工式について

文化財課長（資料に基づき説明する。）

【質疑】

(藤井委員)

先程、閉じた門を観るなら今だということでしたが、この門はすでに完成しているのですか。

(文化財課長)

はい、つい先日門がつかまして、完成しております。現在観ることができます。



- (6) 用瀬図書館の移転作業等に伴う臨時休館及び会館記念式典について  
中央図書館長（資料に基づき説明する。）

【先回定例会の議事録】

【その他】

- (1) 次期委員会の開催について

[3月] 令和3年3月30日(火) 13:30～ 鳥取市役所本庁舎6階 第4会議室

[4月] 令和3年4月30日(金) 13:30～ 鳥取市役所本庁舎6階 第4会議室

教育長 以上で2月定例教育委員会を終了します。

閉会 10時40分